

主な事業紹介



総務費

・総合計画等策定事業	787万円
・村誌編纂事業	459万円
・コンピュータ管理	4,170万円
・広報おひら発行	376万円
・ふるさと祭り開催	613万円
・新エネルギー推進	550万円
・村民バス運行	2,800万円
・交通安全指導員費・交通事故防止対策費	426万円
・防犯対策	433万円

民生費

・高齢者等タクシー利用助成	532万円
・児童手当支給	1億1,578万円
・子ども・子育て支援事業	2億5,867万円
・万葉すくすく子育て医療費助成	3,643万円
・敬老会事業	975万円
・心身障害者医療費助成	877万円
・障害者地域生活支援事業	1,091万円
・障害者総合支援	1億278万円
・障害者地域活動支援センター管理運営	1,184万円
・村社会福祉協議会補助	2,619万円
・児童館管理運営	2,146万円
・福祉センター管理運営	491万円

衛生費

・公立黒川病院運営	6,932万円
・健康増進事業	169万円
・妊産婦保健事業	675万円
・予防接種事業	2,125万円
・がん検診推進事業	1,087万円
・住宅用太陽光発電システム設置補助	800万円
・万葉クリーンエネルギーカー購入補助	80万円
・ごみ・し尿処理運営負担金	9,728万円
・火葬場運営負担金	361万円
・生活ごみ収集運搬等業務	3,038万円
・特定不妊治療費助成	270万円

農林業費

・農業委員会費	1,825万円
・農業振興	5,724万円
・林業振興	1,602万円
・畜産振興	215万円
・環境整備支援事業補助	450万円
・生産調整推進対策事業	1,887万円
・農林業系汚染廃棄物処理	2,663万円

商工費

・企業誘致及び雇用対策	255万円
・万葉まつり開催	848万円
・商工振興	2,403万円
・企業立地促進奨励金	6,824万円
・割増商品券発行事業	450万円

土木費

・道路維持補修	9,068万円
・道路改良舗装事業	3億3,401万円
【奥田大森線、大瓜南側線、尾西中山線】	
・定住促進事業補助	3,000万円
・村営住宅管理	1,311万円
・定住促進住宅管理	1,198万円
・公園維持管理	8,538万円
・五反田住宅改修事業	9,000万円
・万葉クリエートパーク公園長寿命化事業	5,000万円
・五反田運動広場整備事業	964万円

消防費

・黒川消防署運営	1億1,485万円
・村消防団運営等	2,589万円
・消防施設整備	440万円
・防災対策	854万円
・消防ポンプ小屋整備事業	883万円

教育費

・外国語指導助手	526万円
・芸術文化振興	177万円
・小中学校管理運営	8,469万円
・小中学校教育振興	1,161万円
・美術館管理運営	1,038万円
・給食センター管理	6,172万円
・万葉研修センター管理運営	698万円
・社会体育施設管理	2,821万円
・大衡城青少年交流館管理運営	1,224万円
・スクールバス運行	930万円
・小学校体育館改修事業	6,156万円
・中学校LED化整備事業	559万円
・衡中北集会所整備事業	875万円



平成30年度一般会計予算



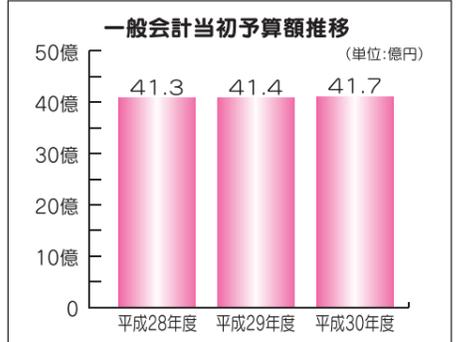
当初予算41億7,000万円の使い道

歳入 歳入について、村税は実績等を勘案し前年度比14.2%増を見込み、市町村の財政規模に応じて交付される地方交付税は、村税が増え、国全体の交付額も圧縮されたことを受け、34.2%の減を見込んでいます。国庫支出金は、村道改良舗装事業の継続工事や、村営住宅の改修、公園施設の更新など長寿命化対策事業が引き続き予定されており、6.8%の増となっています。

歳出 主な建設事業については、継続事業の奥田大森線・尾西中山線・大瓜南側線の各道路改良舗装事業に加え、老朽化している村営住宅の改修や万葉クリエートパークの公園施設の更新などを予定しています。

また、五反田運動広場整備事業が予定されている他、29年度でほぼ完売したときわ台南住宅団地を考慮し、定住促進補助金を増額しています。

この他、衡中北集会所整備事業や中学校LED化事業、軽消防自動車1台の購入や消防ポンプ小屋の整備、小学校体育館の改修等の工事を予定しています。従来から支援しています高齢者へのインフルエンザや肺炎球菌ワクチンの予防接種助成、タクシー利用助成、住宅用太陽光発電システム設置助成、出生時や小中学校入学時に支給する子育て支援祝金など、生活に特に密接した事業については引き続き支援を行っていきます。さらに、新たに特定不妊治療費に係る助成を実施していく予定です。



特別会計

()は前年度比

国民健康保険事業勘定特別会計	5億1,270万円 (16.0%減)
下水道事業特別会計	3億870万円 (11.7%増)
介護保険事業勘定特別会計	5億7,770万円 (9.7%増)
戸別合併処理浄化槽特別会計	4,050万円 (3.1%増)
後期高齢者医療特別会計	5,260万円 (0.4%増)
宅地造成事業特別会計	1,340万円 (75.2%減)

企業会計

水道事業会計	
○収益的収入及び支出	2億4,723万円 (5.4%減)
○資本的収入及び支出	
収入	0.1万円 (増減なし)
支出	1,938万円 (16.4%増)

平成30年2月28日現在人口 5,850人
村民1人当たりの行政経費 712,821円

土木費 159,295円	民生費 152,298円	総務費 97,185円
教育費 74,646円	公債費 59,760円	衛生費 58,051円
農林業費 30,894円	消防費 27,836円	商工費 22,741円
		議会費など 30,115円

歳入

自主財源 52.7%		依存財源 47.3%		
村税 個人村民税・法人村民税 固定資産税・軽自動車税 たばこ税 14億6,501万円(35.1%)	繰入金 5億2,133万円 (12.5%)	地方交付税 5億6,615万円 (13.6%)	国庫支出金 5億1,139万円 (12.3%)	村債 4億330万円 (9.7%)

- 自主財源…村が自主的に調達できるお金
- 依存財源…国や県の基準に基づいて交付されるお金

歳出 性質別経費

経常的経費 71.9%					投資的経費 17.0%		その他の経費 11.1%
人件費 6億4,880万円 (15.5%)	物件費 9億5,540万円 (22.9%)	維持補修費・補助費 7億5,145万円 (18.0%)	公債費 3億4,960万円 (8.4%)	扶助費 2億9,456万円 (7.1%)	普通建設 事業費など 7億719万円 (17.0%)	積立金・繰入金など 4億6,300万円 (11.1%)	

- 経常的経費…義務付けられ任意に節約できない経費
- 投資的経費…道路、橋、公園、学校、公営住宅等に必要なる社会資本整備費

歳出 目的別経費

土木費 9億3,187万円 (22.3%)	民生費 8億9,094万円 (21.4%)	総務費 5億6,853万円 (13.6%)	教育費 4億3,668万円 (10.5%)	公債費 3億4,960万円 (8.4%)	衛生費 3億3,960万円 (8.1%)	議会費・商工費 消費など 4億7,205万円 (11.4%)
------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	---

農林業費
1億8,073万円(4.3%)